



大阪+知的障害+地域+おもろい=創造

## 知の知の知の知

社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会 社会政策研究所情報誌通算 3120 号 2016.7.10 発行

北星余市高なくさないで 保護者ら存続運動

北海道新聞 2016年7月10日



「何とか存続の道を探りたい」と語る安河内敏校長  
署名4万5千人提出 ネットで発信

生徒数の減少で閉校の危機にある北星学園余市高（後志管内余市町）の存続を願う声がやまない。不登校や中途退学の生徒を全国に先駆けて受け入れ、独自の教育を展開してきた。「この学校を必要としている人たちはまだまだいる」。窮地に立った学びやを救おうと、生徒や卒業生、保護者などがそれぞれの立場で行動している。その思いは一。

「本気でぶつかり、向き合ってくれる大人たちがいた。ここは、私が変わろうって思えた場所なんです」

JR余市駅から約2キロ。住宅街から少し離れた、病院や福祉施設が並ぶのどかな一角にたつ北星余市高で、3年の鴻巣（こうのす）友理枝さん（19）が力を込めた。

茨城県出身。地元の高校時代は遊び回り、1年足らずで退学した。親に「ここにはいさせられない」と言われ、再起を目指して北星余市に入学。当初は「田舎だし、下宿は門限もあるし、だるい」と思っていたが、教員たちの熱意が心を打った。

### ■「話聞いてくれた」

「飲酒とかの問題を起こして『もう学校やめてやる』って言うたびに、粘り強く、しつこいぐらい話を聞いてくれた」と振り返る。

非行のほか、いじめや不登校の経験者、発達障害など、多様な生徒たちが一緒に学ぶ「ごちゃまぜ教育」を掲げる同校。「やんちゃな子も、おとなしい子も、学校行事など一つの目標に向かい、力を合わせる。いろいろな個性の人たちと向き合った経験も、私を成長させてくれた」と話す。

同校を運営する学校法人北星学園（札幌）が閉校を検討していると知り、居ても立ってもいられなかった。2月ごろから生徒会が始めた存続を求める署名活動では街頭にも立った。

3年の中村京介さん（17）も北星余市で「変わった」という。

札幌の中学に通っていたころはささいなことでもけんかを繰り返して「情緒不安定で、クラスの中でも浮いた存在。『また、おまえか』と怒られてばかりだった」と振り返る。北星余市では「先生たちは頭ごなしに叱らず、いつも理由を尋ねてくれた」といい、前向きになった。生徒会の役員を務め、存続への思いを盛んに交流サイトなどで発信する。

札幌市白石区の塚本由美子さん（48）は中学時代に自宅で引きこもっていた長男が北星余市に通う。「学校行事に保護者も積極的に関わる伝統があり、職員室にも気軽に入れる雰囲気。悩み、疲れ果てていたが、親子で救われた」と語る。

### ■住民と学校が連携

親元を離れ、余市にやって来た生徒たちを支えるのが、町民が営む下宿や寮だ。同校が中退者の受け入れを始めた1988年から町内で下宿を続ける下村秀規さん（60）は『起きたか』『飯食ったか』『忘れ物ないか』と声を掛けてきた。教員たちが気づかない生徒の

異変が見えることもあり、学校と協力し、やり直したいと思う生徒たちを見守ってきた」と自負する。

学生向けフリーペーパー「KITABI JIN (キタビジン)」を発行するプロジェクト・ノア (札幌) の社長渡部隆志さん (33) は「北星余市を出たから、今の人生がある」と強調する。

新潟市出身で暴力事件を起こし、高校を退学になった。地元の建設会社で「高校中退は採用できない」と言われ、余市へ。担任教諭は、同校OBで母校の教壇に立ち「ヤンキー先生」と呼ばれた義家弘介衆院議員だった。

「クラスを良くしたいと思って、何かやりたいと提案した時に否定されたことは一度もない。『失敗してもいいから挑戦しろ』と背中を押してくれた。その経験は大きい」。北星学園大に進学し、東京の企業で働いた後、友人らと起業した。

昨年末、同級生たちと協力し、札幌のアルバイト情報誌の裏表紙全面を使って同校の生徒募集の広告を出した。

### ■母校への恩返し

札幌・ススキノで飲食店を営む上原志保さん (40) は常連客らから約400人分の署名を集めた。神奈川県の高校を中退後、「救ってくれた」母校への恩返しのつもりだ。慣れない余市での生活を気遣い、リンゴ狩りや山菜採りに誘ってくれた教員たちの温かさが忘れられないという。

「教育現場の縮図」。北星余市高をこう評するのがHBC (北海道放送) の河野啓さん (53) だ。88年から取材を続け、これまで30本のドキュメンタリーを制作してきた。当初はいわゆる「ツッパリ」が多く、その後は不登校を経験した生徒が増え、現在は貧困世帯の子どもも目立つようになったという。「何が問題かを教えてくれる。そんな学校だ」(高橋毅、玉邑哲也)

存続を求める署名は教諭や下宿関係者、PTA、同窓会などが5月中旬までに計4万5694人分を集め、学園側に提出した。同校が全国で年間約30回開いている学校説明会は、閉校方針を知った卒業生らが会場探しや運営に奔走し、昨年度は急きょ3回増やした。卒業生の保護者が立ち上げたフェイスブックのページ「北星余市の存続を願う会」も応援の声を広げる。安河内 (やすこうち) 敏校長 (51) は「行き場を失った子どもたちの居場所。何とか存続の道を探りたい」と語る。

## ノンステップバス乗り方教室 「行動広げて」とガイド贈る 金立特別支援学校

佐賀新聞 2016年07月10日



運転手の支援を受け、スロープからバスに乗り込む生徒＝佐賀市の金立特別支援学校  
バスに乗り、市交通局職員の説明を聞きながら乗り降りの手順を確認する生徒ら＝佐賀市金立町



障害のある子どもたちのための「ノンステップバスの乗り

方ガイド」が4日、佐賀市の金立特別支援学校 (武富太裕校長) に贈呈された。贈呈に合わせてバスの乗り方教室も開き、佐賀市交通局の職員が手順を説明した。

障害のある子どもたちが安心してバスに乗れるよう、市内の障害者でつくる「〇〇な障がい者の会」と市交通局が協力してガイドを作成した。ガイドには「時間の横にNと書いてあるのがノンステップバスの到着時刻」「車いすを使う人は、ベルトで固定してもらう」といった説明が、6項目にわたって記されている。

贈呈式では同会の内田勝也会長が「行動範囲が広がるよう、今後の生活に役立ててください」と50冊を贈った。受け取った武富校長は「これで、バスに乗れるという自信がつけられる」と感謝を述べた。乗車体験では、市交通局の職員の支援を受けながら、生徒12人が実際にバスを使って乗り降りの手順を確認した。

参加した中学部1年の児玉萌さん(13)は「普通の車とは景色が違って楽しかった。自分でバスに乗って博物館に行ってみたい」と話した。

## 働く親たち「夜間・休日保育足りない」 政治に要望 小若理恵、高岡佐也子

朝日新聞 2016年7月9日



24時間営業の認可外保育所「キッズタウン」には夜間も働く親たちの子どもが多く通う＝名古屋市市中村区

「保育園落ちた日本死ね!!!」と題した匿名ブログをきっかけに、与野党はそろって参院選の公約に保育士の待遇改善

などの待機児童対策を掲げる。受け皿は増えつつあるが、「1億総活躍」の担い手からは、夜間や休日保育など、多様な働き方への対応を求める声上がる。

午後9時すぎ、名古屋駅前にある24時間営業の認可外保育所「キッズタウン」。眠りについた子どもたちを起こさないように、名古屋市港区の会社員女性(34)はドアをそっと開けた。2歳の長男のお迎えの時間だ。



化粧品販売会社に勤め、愛知県内4カ所のスーパー内にある店舗の管理を任されている。遅番の日の迎えは午後9時を過ぎてしまう。介護福祉士の夫は不定休で夜勤もある。

大半の認可保育所は、午後7時半には閉まる。深夜まで預けられるのは市内に4カ所しかない。「認可に預けたくても、私たち家族の生活に合う保育所はなかった」と話す。

保育料は1カ月17日の利用で5万円と安くはない。「時々、何のために働いているのかわからなくなる」。時短勤務を選んだら昇進の道が閉ざされる不安もある。「女性の活躍を目指すなら、夜間保育の充実や、認可外の利用料補助なども進めてほしい」。キッズタウンが預かる約30人の子どもたちの保護者の職場は学習塾、飲食店、スーパーなど様々だ。

名古屋市中村区美容師の岩下美樹さん(27)は、ほぼ毎日曜日、車で20分かかかる隣の区の保育所に3歳の娘を預ける。

予約は3カ月前の毎月1日、申込用紙を利用園に提出する。今月1日も、同じく美容師の夫が10月のすべての日曜祝日の申し込みを済ませた。この園では毎回定員の倍以上の申し込みがあり、「1日でも遅れれば、キャンセル待ちになるのでヒヤヒヤです」。

美容師は小学生の頃から憧れの職業。やりがいも感じている。日曜は忙しく休みにくいのに、預けられる認可保育所は市内16カ所だけ。「平日の9時から5時の働き方がかなわない人もいる。いろんな働き方に柔軟に対応できる制度を考えてほしい」と話す。

厚生労働省によると2014年度、全国の認可保育所で午後10時前後まで預かる夜間保育は85カ所、休日保育は1197カ所ある。(小若理恵、高岡佐也子)

### ■「日曜も仕事」38%

日本人の働き方は多様化している。2015年のNHK国民生活時間調査によると、「日曜日に仕事や仕事のつきあいに時間を割いている」人は38・1%。うち女性に限っても34・9%いる。平日の勤務時間も様々で、「午後7時まで」は29・6%で、うち女性は18・2%。「午前0時まで」も4・5%、うち女性は2・6%に上った。

産後すぐに抱っこ、注意点は 赤ちゃん容体急変した例も 朝日新聞 2016年7月10日

生まれたばかりの赤ちゃんを母親が抱っこする「早期母子接触」で赤ちゃんの容体が急変する事態も起きているとして、日本医療機能評価機構（東京）は、実施する際の注意点をまとめたリーフレットをつくった。今月末までに出産を扱っている全国の医療機関と助産所に送付する。

早期母子接触は、かつては「カンガルーケア」と呼ばれることが多かった。母乳の出がよくなることや、赤ちゃんの心拍・呼吸・体温が安定化する効果があるとされる。ただ、生まれた直後の赤ちゃんは呼吸などが不安定で、予期せぬ症状が出る恐れもある。

機構は、出産時に赤ちゃんが重い脳性まひになった場合に一時金などを払う産科医療補償制度の運営も担う。機構によると、2009年に始まったこの制度で補償対象となり、昨年末までに原因分析を終えた793人のうち、生まれた時点では異常はなかったのに、早期母子接触中に赤ちゃんの呼吸が止まるなどして蘇生処置がされた事例が7件あったという。

リーフレットでは、医師や看護師らが心電図モニターなどで赤ちゃんの状態を継続的に観察する▽赤ちゃんの顔を横に向けて、呼吸をしやすい▽温めたバスタオルで赤ちゃんを覆う▽横になっている母親から、赤ちゃんの顔がよく見えるようにする▽母親の上半身を30度前後まで起こす——などを求めている。（黒田壮吉）

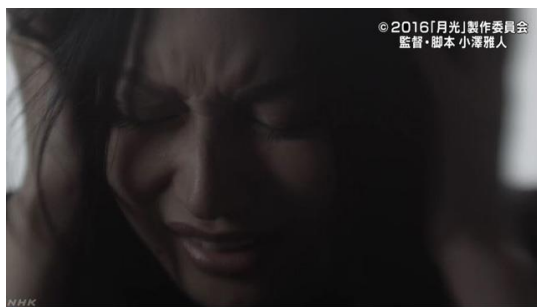
#### 早期母子接触の主な注意点

日本医療機能評価機構のリーフレットをもとに作製

- 赤ちゃんの顔が母親から見える位置で
- 母親の上半身を30度前後まで起こす
- 赤ちゃんの顔を横に向ける
- 温めたバスタオルで赤ちゃんを覆う
- 医療者が継続的に観察する



#### 性暴力 「声なき声」を映画で伝える



NHK ニュース 2016年7月8日

“魂の殺人”とも言われる性暴力。身体だけでなく人としての尊厳も傷つけられる深刻な被害にもかかわらず、被害者は誰にも言うことができず、1人で悩み続けます。

今、その知られざる絶望と苦しみを描いた映画が、東京・新宿で公開されています（7月15日まで）。38歳の気鋭の監督が、緻密な取材を基に作り上げたこの映画。初対面の人

どうして感想を語り合う鑑賞会が開かれるなど、静かな反響を呼んでいます。（科学文化部・信藤敦子記者）

#### 性暴力の苦しみを追体験

映画「月光」。主人公のカオリは、ピアノ教室を営む平穏な日々を送っていました。しかし発表会の夜を境に、人生は一変します。薄暗い駐車場で、教え子の父親から自宅に送ると執ように誘われたカオリ。何度も断るものの、教え子の父親という関係もあり、断り切れずに車の助手席に乗ってしまいます。その結果、人けのない湖畔で性暴力の被害に遭うのです。

映画では、性暴力を受けたあとに直面する耐えがたい苦しみが、克明に描かれています。1つは「音」に対する過敏な反応。カオリは玄関のチャイムや電話の音が鳴ると、布団をかぶってやり過ぎそうとします。自分の靴音にさえ恐怖を感じ、メトロノームの音を聞くこともできなくなってしまいます。

さらには、つらい記憶がよみがえる「フラッシュバック」。カオリは、バスの待合室で男性と目が合うだけでパニックになり、その場に立っていられなくなりました。PTSDによる身体反応の1つと考えられる状況です。

しかし、こうした苦しみをほかの人と共有することもできません。電話に出ない娘を心配して部屋を訪れた母親に対し、「具合悪くて・・・」とごまかして、打ち明けることができませんでした。

### 被害は身近なところで

この映画では、被害者だけでなく、加害者の日常生活や感情も丁寧に描かれています。「性暴力は身近なところで起きている」というリアリティーを伝えるためです。

内閣府が行ったアンケート調査では、加害者の75%が、かつての交際相手や同僚、親族などの顔見知りだという結果も出ています。加害者は、こうした断れない関係性を利用して巧みに性暴力を繰り返し、被害が潜在化していくのです。

映画でも、性暴力に至った教え子の父親は、社会や家庭で抑圧した思いを抱えてはいるものの、写真店を営む、どこにでもいそうな人物です。加害者更生に携わる専門家も、映画を見て、いわゆる一般的な加害者像だと指摘しています。

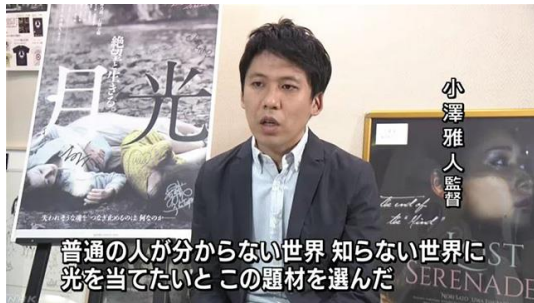
「普通の人」の独善的な行動によって、日常生活が壊れていく被害者。映画では、この理不尽な実態がつぶさに描かれています。

### 児童虐待から性暴力へ

この映画を撮ったのは、小澤雅人監督（38）。今回が3作目の長編です。若者のホームレスやギャンブル依存症など、一貫して社会から疎外された人々の思いを映画で伝えてきました。

小澤監督が今回、性暴力をテーマにしたのは、以前、児童虐待の取材をしたことがきっかけです。児童養護施設に行ったときに、身近な人から性暴力を受けたものの誰にも言えず苦しむ子どもたちを目の当たりにして、衝撃を受けたと言います。

「実際の認知件数よりも、ものすごい数の人がそういう被害に苦しんでいる。普通の人から分らない世界、知らない世界に光を当てたいと、この題材を選びました」

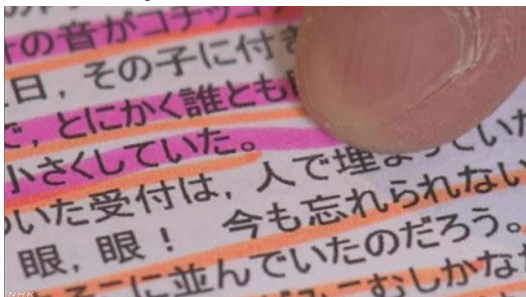


### 手記に基づくリアルな描写

小澤監督は脚本を書くにあたり、50冊以上の性暴力関係の本を取り寄せ、実際の被害者などにも取材を重ねました。中でも、被害直後の心境をまとめた当事者の手記は、映画の重要なシーンに反映されています。手記に描かれていたのは、1人の人間が被害によって極限まで追い詰められる壮絶な状況でした。

「わたしの眼の中に突き刺さってきた眼、眼、

眼！今も忘れられない」人混みの中でつらい記憶がよみがえり、視線に堪えられなくなったときの描写です。カオリがバスの待合室でパニックになるシーンは、この記述を基に作られました。



この手記を監督に託した女性が取材に応じてくれました。かつて知人から性暴力を受けた、写真家のにのみやさをりさん。監督と脚本についてやり取りを交わすなかで、熱心な姿勢に触れ、協力することを決めたと言います。

「描くんだったら、ちゃんと描いてほしいと思いました。この人なら、変にぼかしたり面白くしたりしないで、まっすぐに描いてくれるかなと。被害に遭った人がその直後から背負ってい

かなければいけないものの重さが伝わるんじゃないかと感じました」

## 初対面の人たちが鑑賞会

性暴力被害に真正面から向き合ったこの作品。公開後、反響を呼び、鑑賞会も開かれるようになりました。一緒に映画を見たうえで、監督を交えて感想を語り合います。

「通りがかりの人ではなく、親しい人間が関わっていることがショックだった」

「いちばん近い存在の母親にも言えないものなんだと感じた」

「加害者も普通の生活者で、身近にいるのだと知った。誰がいつ被害に遭ってもおかしくない」

6月26日は約20人が参加。ほとんどが初対面にもかかわらず、さまざまな意見が飛び交いました。

鑑賞会を開いたのは、ト沢彩子さん（28）。かつて被害に遭った経験を基に、性被害に対する理解を広げる活動を続けています。被害者の苦しみを克明に描いたこの映画なら、より現実味をもって捉えてもらえようと考え、インターネットを通じて参加を呼びかけました。「フィクションだからこそ、自分と対話できる機会になる」と話すト沢さん。語りづらかった性被害を広く話せるきっかけになると感じています。

「被害は日常の延長線上に」

今回の取材を通して最も印象に残ったのは、ト沢さんが開いた鑑賞会に参加していた女性の、次のようなことばです。

「こういうことが日本で実際に起きていて、繰り返され続けているということ、みんな見たくないし知りたくない。被害が明るみにならず、誰も処罰されず、被害者は苦しみながら日常を何とか生きていかざるをえない現実が、この映画には、きちんと描かれている」

幼いころから数年にわたって父親から性的虐待を受けていたという女性の実感のこもったことばに、この映画が公開された意義を感じました。

小澤監督は「性被害は本当に僕らの日常の延長線上にあって、全然違う世界のことではない」と言い切ります。



内閣府の調査によりますと、性暴力を受けたことがあると答えた女性のうち、警察に連絡や相談をした人は僅か4%、誰にも相談しなかったという人は70%にも上ります。

被害者の“声なき声”をすくい上げたこの映画が、多くの人々の「気づきの一歩」となることを願わずにはられません。

（映画「月光」は今後、名古屋・横浜などでも公開予定）



## 車の自動運転 保険はどうなる？

ハンドルを操作しなくても目的地まで運んでくれる。“夢の車”とも言える自動運転の実用化が近づいています。しかし、事故が起きたときに誰が責任を負うのか。万一の事態に備えた保険の在り方は定まっていません。アメリカではことし5月に自動運転の機能を使って走行していた車で初めての死亡事故が起きていたことも明らかになりました。“自動運転

NHK ニュース 2016年7月8日

時代”の保険はどうなっていくのか。「日本損害保険協会」の北沢利文会長（東京海上日動火災保険社長）の話を中心に、最新の動向を追いました。（経済部 山田裕規）

### 変革を迫られる損保業界

自動運転の車が登場するのは、もう遠い未来ではありません。日本政府は、東京オリンピック・パラリンピックが開かれる2020年までの実現を目指しています。

自動運転の車は、その後、徐々に普及が進んでいくと北沢会長は見ています。ドライバーが操作するというこれまでの常識を覆す自動運転車の出現は、損害保険業界にとっても革命的な出来事です。

「自動運転車の実用化は、10年、20年という時間をかけて訪れる。損害保険業界は大きなビジネスモデルの変革を迫られている」（北沢会長）



### 新しいタイプの事故に備える

自動運転によって具体的に変わるのは、事故の損害をカバーする自動車保険と自賠責保険。損害保険会社にとって**売り上げ全体の6割を占める主力商品**です。自動運転によって事故が減れば、保険料が安くなって自動車保険の市場も縮小していくようにも思えます。

しかし、北沢会長は自動運転ならではの新しいタイプの事故に備える必要があり、そのニーズ

に応える保険が不可欠になると指摘しています。

「自動運転車は、車どうしが相互に通信し、道路から送られる情報も受けながら走行して、より安全な運転を行う。一方で、情報システムに混乱が生じたりサイバー攻撃を加えられたりした場合には、事故が広域にわたるリスクがある。その場合、被害者は誰に損害賠償

を請求すればよいのか。こうした点は、これから研究していかなければならない」

「車が誤作動を起こす」「システムに不具合が起きる」――自動運転で想定される事故を研究し、保険の在り方を考えるための実験が動き始めています。

北沢会長が社長を務める損害保険大手の「東京海上日動火災」は、ことし4月、名古屋大学と金沢大学と共同で自動運転の車を道路で走らせる実証実験に乗り出しました。どのような事

故が起き得るのか、リスクを多角的に洗い出し、事故原因を正確に把握する仕組みを整えて保険の在り方を考えていく土台にすることがねらいです。

### 事故の責任 誰が負う

自動運転の時代にあった保険を考えていくうえで難しい課題が「事故の責任は誰にあるのか」という点です。日本損害保険協会は自動運転の法律上の課題を検討し、ことし6月、報告書としてまとめました。この報告書では自動運転車を大きく2つに分けて議論を進めています。

まず、人間が運転に関与できるタイプの自動運



転車については、対人事故の賠償責任は、過失がなくても原則としてドライバーにあるとしています。これは、現在の自動車保険や強制加入の自賠責保険と同じ考え方です。トヨタや日産などが開発を目指しているのは、ドライバーも操作が可能な自動運転車。このタイプの車は今の保険の仕組みで対応できるという意見です。

一方、IT大手のグーグルが開発を進めているような、運転に人間が全く関与しない自動運転の車は、**従来の自動車とは別のものとして捉えるべき**と指摘。安全基準や免許制度をはじめ自動車に関する法律などを抜本的に見直す必要があるとしています。

警察庁が設けた有識者の委員会がことし4月にまとめた報告書でも、完全な自動運転の車については「国際的な交通ルールなどを巡る議論を踏まえながら検討する必要がある」として、本格的な議論はこれからというのが実情です。

では、海外での議論はどうなっているのでしょうか。アメリカの運輸省はことし2月、グーグルが開発を進める自動運転のための人工知能について「人の存在なしで車が運転しているのであれば、実際に運転しているものをドライバーとみなすのが合理的だ」として、**人工知能をドライバーとみなす初めての判断**を示しました。

アメリカの製造物責任法制に詳しい青山学院大学法学部の佐藤智晶准教授によりますと、事故の責任を持つべき主体については、さまざまな意見があります。

「アメリカでは、車を製造するメーカーが責任を負うべきだとする報告書を作成したシンクタンクもある。この場合、メーカーの責任をカバーする保険が必要になるだろう。一方、アメリカで最も進んでいるとされるカリフォルニア州の規制案では、安全のために自動運転車にもドライバーが必要ということになっている。将来的にドライバー不在の完全な自動運転車が実用化されても、車の所有者や制御システムを監視する人に責任を持たせる方向で議論が進むのではないか」

完全な自動運転の車であっても、車の所有者は一定の責任が問われるのではないか。日本損害保険協会の北沢会長も同じ見解を示しています。

「完全な自動運転の車でも、予測できない事故で自分の車が他人に損害を与えることがあるかもしれない。その責任は車のメーカーにあるのか車を制御した情報通信システムのプログラムにあるのか、なかなか判定ができない。そうした場合に、車を持っている人は何らかの形で当事者にならざるをえない。本当に事故が起きたとき、車の所有者が、全く責任がないと言い張れるかというとなかなか難しいのでは」

### 議論の活性化を

保険の視点から自動運転の時代を見つめた今回の取材を通じて、技術開発のスピードに比べて、制度の整備が追いついていないという印象を受けました。拙速に結論を求めるべきテーマではありませんが、議論がより活発になっていくことを期待したいと思います。

